平成24年２月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年１月５日

上 場 会 社 名　　株式会社 ワンダーコーポレーション　　上場取引所　　大
コ ー ド 番 号　　3344　　URL　http://www.wonder.co.jp
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)宇津木 雅美
問合せ先責任者　(役職名)取締役管理本部副本部長　(氏名)塚田 英雄　　(TEL)029(853)1313

四半期報告書提出予定日　　平成24年１月12日
配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

1.　平成24年２月期第３四半期の連結業績（平成23年３月１日～平成23年11月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年２月期第３四半期	46,413	△0.0	636	209.9	729	159.9	△648	―
23年２月期第３四半期	46,422	△2.3	205	△64.6	280	△54.9	20	△89.9

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年２月期第３四半期	△12,672.28	―
23年２月期第３四半期	387.08	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年２月期第３四半期	27,827	9,858	35.3	191,906.73
23年２月期	27,431	10,635	38.6	207,078.96

(参考)　自己資本　　24年２月期第３四半期　　9,815百万円　　23年２月期　　10,591百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年２月期	―	0.00	―	2,500.00	2,500.00
24年２月期	―	0.00	―		
24年２月期(予想)				2,500.00	2,500.00

(注)　当四半期における配当予想の修正有無　：　無

3.　平成24年２月期の連結業績予想（平成23年３月１日～平成24年２月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	△1.7	1,150	34.1	1,200	27.2	△300	―	△5,865.22

(注)　当四半期における業績予想の修正有無　：　無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　　：　無

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

② ①以外の変更　　：　無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年２月期３Ｑ	54,036株	23年２月期	54,036株
② 期末自己株式数	24年２月期３Ｑ	2,887株	23年２月期	2,887株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年２月期３Ｑ	51,149株	23年２月期３Ｑ	53,459株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 ……2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ……2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ……2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ……3
2. その他の情報 ……4
(1) 重要な子会社の異動の概要 ……4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 ……4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 ……4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……4
3. 四半期連結財務諸表 ……5
(1) 四半期連結貸借対照表 ……5
(2) 四半期連結損益計算書 ……7
【第３四半期連結累計期間】 ……7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……8
(4) 継続企業の前提に関する注記 ……10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
4. 補足情報 ……11
セグメント別商品別販売実績 ……11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で低下した企業の生産活動が急速に回復に向かっているものの、欧州経済不安や円高により、景気の先行きは依然不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループのWonderGOO事業におきましては、フルＨＤ画質で全店同時に情報発信できるデジタルサイネージシステム（電子看板）をこれまでの音楽ソフト・ゲーム売場に加え、書籍・化粧品売場にも導入いたしました。また、WonderREX事業におきましては、買取の査定時間の短縮を図るためiPad買取査定システムをWonderREX全店に導入し、業務効率の向上を実現いたしました。更に、各店で行なっていた買取品の補修を集中して行うリペアセンターを７月から稼働させ、補修効率の向上を図ってまいりました。

経費面におきましては、震災の影響から改装スケジュールを見直すとともに、空調の自動制御システムの一部店舗への導入と節電の実施等により販管費の抑制を図りました。

店舗面におきましては、新規店舗としてTSUTAYA牛久店を出店いたしました。更にWonderGOO古河店の移転増床と２店舗の改装を実施いたしました。なお、店舗運営効率化の観点からインショップ１店舗を閉鎖した結果、当第３四半期連結会計期間末の直営店舗は96店舗、FC店舗数は24店舗となりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は46,413百万円（前年同期比0.0％減）、営業利益は636百万円（前年同期比209.9％増）、経常利益は729百万円（前年同期比159.9％増）となりました。また、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額224百万円、災害による損失295百万円及び訴訟和解金780百万円の計上等により、四半期純損失は648百万円（前年同期の四半期純利益は20百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第３四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、15,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ777百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が465百万円減少したものの、商品が1,087百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第３四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、12,656百万円となり、前連結会計年度末に比べ382百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が111百万円、無形固定資産が38百万円、投資その他の資産が231百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第３四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、14,224百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,117百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が241百万円、１年内返済予定の長期借入金が285百万円減少したものの、買掛金が742百万円、短期借入金が500百万円、賞与引当金が140百万円増加したことによるものです。

（固定負債）

当第３四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、3,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が317百万円減少したものの、資産除去債務が484百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は、9,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ777百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失648百万円の計上と、剰余金の配当127百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ465百万円減少し、1,283百万円となりました。

当第３四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純損失719百万円、たな卸資産の増加1,120百万円により資金が減少したものの、減価償却費712百万円、減損損失148百万円、仕入債務の増加742百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額224百万円により資金が増加したことにより61百万円の増加（前年同四半期は156百万円の資金の増加）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、敷金・保証金の回収により247百万円増加したものの、有形固定資産の取得による支出374百万円により234百万円の減少（前年同四半期は657百万円の資金の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金が102百万円（短期借入金並びに長期借入金の合計額）、リース債務の返済による支出62百万円、配当金の支払により126百万円減少したことにより、291百万円の減少（前年同四半期は92百万円の資金の減少）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年９月22日付で公表しました連結業績予想の変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（簡便な会計処理）

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第３四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

当第３四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第２四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法を採用しております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

（「資産除去債務に関する会計基準」等の適用）

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益が20,418千円減少し、税金等調整前四半期純損失が244,739千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は452,529千円であります。

表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用に伴い、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年11月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成23年２月28日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,283,918	1,748,969
売掛金	1,086,062	977,371
商品	9,776,004	8,688,199
貯蔵品	21,392	14,411
未収入金	1,448,188	1,578,624
繰延税金資産	970,910	768,424
その他	592,957	625,205
貸倒引当金	△8,013	△7,634
流動資産合計	15,171,422	14,393,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,645,951	4,777,075
その他（純額）	1,674,173	1,654,818
有形固定資産合計	6,320,124	6,431,894
無形固定資産		
のれん	－	18,013
その他	316,993	337,510
無形固定資産合計	316,993	355,524
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,711,432	4,852,985
その他	1,387,093	1,477,732
貸倒引当金	△79,415	△79,865
投資その他の資産合計	6,019,110	6,250,853
固定資産合計	12,656,229	13,038,271
資産合計	27,827,651	27,431,842

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年11月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成23年２月28日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,512,625	5,769,723
短期借入金	3,250,000	2,750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,342,196	1,627,826
未払法人税等	24,348	266,026
賞与引当金	282,859	142,177
ポイント引当金	1,288,926	1,237,133
災害損失引当金	8,332	－
その他	1,514,984	1,314,243
流動負債合計	14,224,273	13,107,129
固定負債		
長期借入金	2,037,274	2,354,606
退職給付引当金	183,279	173,081
長期預り保証金	289,403	304,383
資産除去債務	484,946	－
その他	750,257	857,013
固定負債合計	3,745,160	3,689,084
負債合計	17,969,433	16,796,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金	2,360,793	2,360,793
利益剰余金	5,308,984	6,085,031
自己株式	△212,931	△212,931
株主資本合計	9,815,747	10,591,794
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	89	87
評価・換算差額等合計	89	87
新株予約権	42,380	43,747
純資産合計	9,858,217	10,635,629
負債純資産合計	27,827,651	27,431,842

(2) 四半期連結損益計算書

【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）
売上高	46,422,324	46,413,317
売上原価	34,371,185	34,283,564
売上総利益	12,051,139	12,129,752
販売費及び一般管理費	11,845,909	11,493,721
営業利益	205,229	636,031
営業外収益		
受取利息	38,181	35,359
受取手数料	77,422	78,786
その他	62,720	66,065
営業外収益合計	178,325	180,212
営業外費用		
支払利息	99,559	86,893
その他	3,496	289
営業外費用合計	103,056	87,183
経常利益	280,498	729,059
特別利益		
固定資産売却益	－	1,242
貸倒引当金戻入額	530	70
新株予約権戻入益	111	1,367
災害見舞金	－	22,281
特別利益合計	641	24,962
特別損失		
固定資産除却損	13,063	26,060
減損損失	80,872	148,082
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	224,321
契約解約損	199	－
災害による損失	－	295,138
訴訟和解金	－	780,000
転貸契約等損失	3,600	－
特別損失合計	97,735	1,473,603
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	183,404	△719,581
法人税、住民税及び事業税	207,146	68,834
法人税等調整額	△44,434	△140,240
法人税等合計	162,712	△71,406
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△648,174
四半期純利益又は四半期純損失（△）	20,692	△648,174

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年３月１日 至 平成22年11月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年３月１日 至 平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	183,404	△719,581
減価償却費	786,213	712,489
減損損失	80,872	148,082
のれん償却額	27,019	18,013
株式報酬費用	5,545	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	141,746	140,682
退職給付引当金の増減額（△は減少）	10,249	10,197
ポイント引当金の増減額（△は減少）	40,761	51,793
受取利息及び受取配当金	△38,221	△35,389
支払利息	99,559	86,893
固定資産売却損益（△は益）	－	△1,242
固定資産除却損	13,063	26,060
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	224,321
災害見舞金	－	△22,281
災害による損失	－	295,138
訴訟和解金	－	780,000
契約解約損	199	－
売上債権の増減額（△は増加）	△339,013	△108,691
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,357,825	△1,120,935
仕入債務の増減額（△は減少）	914,999	742,901
その他	195,355	349,861
小計	763,929	1,578,312
利息及び配当金の受取額	428	246
利息の支払額	△105,988	△87,909
災害見舞金受取額	－	22,281
災害による損失支払額	－	△236,554
訴訟和解金の支払額	－	△780,000
法人税等の支払額	△502,032	△434,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,336	61,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△768,842	△374,893
有形固定資産の売却による収入	－	2,399
無形固定資産の取得による支出	△29,484	△22,251
貸付金の回収による収入	1,250	－
投資有価証券の取得による支出	－	△30,000
敷金及び保証金の差入による支出	△100,918	△49,047
敷金及び保証金の回収による収入	249,555	247,810
その他	△9,500	△8,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△657,939	△234,605

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	650,000	500,000
長期借入れによる収入	900,000	850,000
長期借入金の返済による支出	△1,442,486	△1,452,962
リース債務の返済による支出	△65,873	△62,036
配当金の支払額	△133,647	△126,994
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,007	△291,992
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△593,610	△465,050
現金及び現金同等物の期首残高	2,104,987	1,748,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,511,376	1,283,918

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

セグメント別商品別販売実績

（単位：百万円、％）

商品名		当第３四半期連結累計期間（自 平成23年３月１日 至 平成23年11月30日）		前年同期比
		金額	構成比	
ゲームソフト及び関連商品	新　品	8,083	17.4	―
	中古品	4,031	8.7	―
	卸　売	2,295	4.9	―
	計	14,410	31.0	―
音楽ソフト	新　品	2,625	5.7	―
	中古品	1,178	2.5	―
	卸　売	611	1.3	―
	計	4,415	9.5	―
映像ソフト	新　品	1,285	2.8	―
	中古品	1,111	2.4	―
	卸　売	405	0.9	―
	計	2,801	6.0	―
書籍	新　品	9,781	21.1	―
	中古品	482	1.0	―
	卸　売	1,273	2.7	―
	計	11,537	24.9	―
化粧品	新　品	1,486	3.2	―
	卸　売	125	0.3	―
	計	1,612	3.5	―
携帯電話	新　品	3,380	7.3	―
レンタル	レンタル	2,743	5.9	―
その他	その他	1,708	3.7	―
WonderGOO事業	新　品	26,643	57.4	―
	中古品	6,803	14.7	―
	レンタル	2,743	5.9	―
	その他	1,708	3.7	―
	卸　売	4,711	10.2	―
	計	42,610	91.8	―
リユース商品		3,593	7.7	―
その他		160	0.3	―
WonderREX事業	計	3,754	8.1	―
報告セグメント計		46,365	99.9	―
その他	計	48	0.1	―
合計		46,413	100.0	―

（注）１　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
　　２　セグメント間取引については、相殺消去しております。
　　３　ＦＣ事業及びその他の卸売事業の売上高は、各セグメントに配賦されております。